



ABEST21 e-News

No.78, May-August 2015

ABEST21

THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW,
a 21st century organization

URL: <http://www.abest21.org> TEL. 03-3498-6220 E-Mail: ABEST21@abest21.org
Editor: Fumio Itoh

ABEST21 Office Report

=====

2015年5月

- ・20日：日経キャリアマネジメントの取材
- ・28日：関西国際大学主催の第2回 ACP 会議に出席

2015年6月

- ・02日：インドネシア・Karawang の Universitas Singaperbangsa Karawang を訪問
- ・05日：AFEBI の第8回 Plenary Session に出席
- ・05日：インドネシア・Jakarta の PPM School of Management を訪問

2015年7月

- ・06日：株式会社東芝「東芝未来科学館」を見学
- ・07日：ホテルニューオータニで創立10周年記念式典を挙
- ・07日：ホテルマウント富士で創立10周年記念レセプションを挙
- ・15日：文部科学省を訪問
- ・16日：文部科学省を訪問

2015年8月

- ・10日：インドネシア・Jakarta の Universitas Indonesia でセミナーを開催
- ・12日：マレーシア・KL の Management & Science University でセミナーを開催
- ・12日：マレーシア・Kajang, Selangor D.E. の Universiti Tunku Abdul Rahman を訪問
- ・13日：マレーシア・Ministry of Higher Education で Malaysian Qualifications Agency と Memorandum of Arrangement を調印

1. マネジメント教育の質保証 -23

=====

認証評価の対象 (Scope of Accreditation) について

ABEST21 が「評価の対象 (Scope of Accreditation)」とする認証評価の分野は、2007年10月、文部科学相より分野別認証評価機関として認証された専門職大学院の経営分野である。この経営分野には「経営管理」、「技術経営」、「ファイナンス」、及び「経営情報」の領域が含まれるとされ、その専門分野に特化した専門職大学院の認証評価を行ってきた。その後、2011年10月に「知的財産」分野の分野別認証評価機関として認証されたので、現在では、「経営分野」と「知的財産分野」の専門職大学院を「認証評価の対象」として活動してきている。周知の如く、専門職大学院は大学院修士課程の「専門職学位課程」であるので、経営分野の一般的な教育プログラムはいわゆる経営

管理修士（Master of Business Administration ; MBA）と云われるプログラムである。現在、文部科学省の専門職大学院設置基準により設置認可されている経営分野の「ビジネス・MOT」関係の専門職大学院の数は、2015（平成 27）年 7 月現在で 33 校であり、そのうち ABEST21 が 2007 年 10 月から 2015 年 7 月までの間に認証評価してきた専門職大学院は、初審評価が 10 校、維持評価が 5 校であり、それは下記のとおりである。

1）初審評価（Initial Accreditation）

- ・ 青山学院大学大学院国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻
- ・ 一橋大学大学院国際企業戦略研究科経営・金融専攻
- ・ 神戸大学大学院経営学研究科現代経営学専攻
- ・ 筑波大学大学院ビジネス科学研究科国際経営プロフェッショナル専攻
- ・ 関西学院大学大学院経営戦略研究科経営戦略専攻
- ・ 京都大学大学院経営管理教育部経営管理専攻
- ・ 南山大学大学院ビジネス研究科ビジネス専攻
- ・ 早稲田大学大学院商学研究科ビジネス専攻
- ・ SBI 大学院大学経営管理研究科アントレプレナー専攻
- ・ 山口大学大学院技術経営研究科技術経営専攻

2）維持評価（Maintenance Accreditation）

- ・ 青山学院大学大学院国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻
- ・ 一橋大学大学院国際企業戦略研究科経営・金融専攻
- ・ 神戸大学大学院経営学研究科現代経営学専攻
- ・ 筑波大学大学院ビジネス科学研究科国際経営プロフェッショナル専攻
- ・ 関西学院大学大学院経営戦略研究科経営戦略専攻

一方、ABEST21 は国際貢献の一環として、2010 年度より日本における経営分野専門職大学院の認証評価の知見と経験を、アジア諸国の大学ビジネススクールのマネジメント教育研究の質維持向上のために、「選択評価」として MBA プログラムの質保証プロセスの開発に活用している。インドネシアの大学における Faculty of Economics and Business の MBA プログラム、またマレーシアの大学における Graduate School of Business の MBA プログラムが、それぞれ「評価の対象」となり、その結果、2015 年 3 月までの約 5 年間に、ABEST21 が認評価した学校数は 5 ヶ国 15 大学のビジネススクールとなった。それは以下のとおりである。

初審評価

中国

- ・ School of Business Administration, Northeastern University, Shenyang

インドネシア

- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Brawijaya, Malang
- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Indonesia, Jakarta
- ・ School of Business and Management, Institut Teknologi Bandung, Bandung
- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Padjadjaran, Bandung
- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Diponegoro, Semarang

マレーシア

- ・ Faculty of Business Management and Professional Studies, Management & Science University, Shah Alam
- ・ Graduate School of Management, International Islamic University Malaysia, Kuala Lumpur

- ・ Graduate School of Business, Universiti Sains Malaysia, Penang
- ・ Arshad Ayub Graduate Business School, Universiti Teknologi MARA, Shah Alam
- ・ Graduate School of Business, Universiti Kebangsaan Malaysia, Bangi
- ・ Putra Business School
- ・ Othman Yeop Abdullah Graduate School of Business, Universiti Utara Malaysia, Sintok
- シンガポール
- ・ Global Masters in Business Administration, SP Jain School of Global Management, Singapore
- タイ
- ・ Faculty of Business, Economics and Communications, Naresuan University, Phitsanulok

ABEST21 が、これまで「評価の対象」を大学ビジネススクールの MBA プログラムに拘ってきた背景には、経済のグローバル化の進展によりマネジメント力に優れたマネジメント人材の育成がビジネススクールの喫緊の課題であるという認識に基づいている。1990 年代の冷戦構造の崩壊、技術革新の進展そして情報化時代の到来などを考えると、これからはいままで以上に国境の垣根が低くなり、経済のグローバル化の進展が加速度化し、世界市場の一体化により競争が地球規模で展開される国際的な大競争時代の到来が十分に予測されたからである。

この国際的な大競争時代においては、異文化の多様で異質な市場が形成され、異文化圏の価値観に対する理解力が不可欠となり、高度のマネジメント力を駆使しうる強力なリーダーシップと創造力を身に付けたマネジメント力に優れたマネジメント人材の育成が急務となってくることは自明の理であった。それ故、ABEST21 は、2005 年 7 月の創設時に制定した Mission Statement において、マネジメント人材の育成はビジネススクールの使命であるとして、ビジネススクールのグローバル化を推進していくために、マネジメント教育研究の質維持向上の認証評価活動を事業を始めたのである。ABEST21 の認証評価が MBA プログラムを「評価の対象」としてスタートしたのはこうした理由に基づくものである。

しかし、周知の如く、アジア諸国の教育制度は文化の多様性と経済発展段階の程度により様々である。従って、マネジメント人材育成の教育研究活動の質保証プロセスのグローバル化を考えると、その質保証プロセスを世界基準といわれる基準に単に同化させていくことには無理があると考えている。グローバル化とは世界基準と云われるものに同調していただくだけではなく、文化の多様性に如何に調和させていくかのプロセスをも考えねばならないと思料する。アジアの多様な教育制度を経済、社会、文化のグローバル化という鏡に映し出した時に、そこに映し出されてくるものは調和していかなければならないその国の文化であり、それを学び取ることが重要である。

従って、日本では MBA プログラムのマネジメント教育研究は主に経営専門職大学院で行われているが、インドネシアでは一般的に Faculty of Economics and Business の修士課程のマネジメント専攻で、マレーシアの Universiti Sains Malaysia では School of Management と分離している Graduate School of Business において行われている。さらに、インドネシアの Faculty of Economics and Business は、Economics、Management、そして Accounting の部門から構成され、MBA プログラムはそれらの部門の相互関連のなかで行われている。従って、マネジメント教育研究の質保証プロセスには Economics 部門の教育研究の質を無視するわけにはいかない。それ故、ABEST21 は、2015 年度に、先ず修士課程の“Business Economics”を ABEST21 の「評価の対象」に加えたのである。マネジメント教育研究のグローバル化は MBA プログラムの「評価の対象」から“Business Economics”を除外するのではなく、インドネシアにおけるマネジメント教育研究の現実を認識して、それにどう調和させていくかを考えていくことにより、世界に共存しうるマネジメント教育研究の場が形成

されてくるのである。

ABEST21 は、アジアにおける大学のマネジメント教育研究の一貫性の視点から、マネジメント教育研究の質保証プロセスを“MBA”プログラムベースから教育課程ベースに展開し、教育課程を“学士課程”と“修士・博士課程”とに分けていくことが現地のニーズではないかと考えている。いずれにせよ、ABEST21 の認証評価はアジアの大学にとっては「選択評価」であるので、ABEST21 としては会員のニーズに応じて「評価の対象」を整理していく必要がある。ABEST21 のこの5年間に蓄積された30校の修士課程 MBA プログラムの認証評価の知見と経験は、これらのニーズに十分に答えられうるものと確信している。ABEST21 は、10月19日と20日に Peer Review Committee の開催を予定しているので、そこで「評価の対象」についての議論をしていきたい。その主な項目は、下記の通りである。

- 1) 「評価の対象」となるマネジメント教育研究分野の範囲を明確にすること。
- 2) マネジメント教育研究の質保証プロセスを「学士課程」と「修士・博士課程 (MBA・DBA)」とに分け、「学士課程」の質保証プロセスを開発すること。
- 3) 日本のマネジメント教育研究の質保証プロセスの「選択評価」として、国際系学部の教育の質保証プロセスを開発すること。
- 4) その他

ABEST21 のアジアにおける大学ビジネススクールの MBA プログラムの認証評価は、それぞれの大学にとっては「選択評価」である。従って、その逆もありえると考え。アジアの大学で開発された学士課程の質保証プロセスを、「選択評価」として日本の国際系学部の教育研究の質保証プロセスの開発に参考にしていきたい。それはアジアの文化の多様性に調和して、大学を“丸く閉ざされた空間”から“多くの多様な人々が行き交う道路のような共存の場”に転換してくる機会ともなりうるからである。“グローバル化に対応した教育研究環境づくり”を推進し、アジアから多くの学生を受入れていくためには、多様な文化との出会いをキャンパスに創り出していくことが大切ではないかと考える。

(伊藤 文雄)

2. General Information

=====

1) ABEST21 創立 10 周年記念式典及びレセプションについて

標記の内容につきましては、ABEST21 e-News No. 76-Special Issue, 2015 に掲載されていますので、下記の URL でご覧ください。

- (1) http://www.abest21.org/enews/enews_761.pdf
- (2) http://www.abest21.org/enews/enews_762.pdf
- (3) http://www.abest21.org/enews/enews_763.pdf

2) マレーシア・Ministry of Higher Education で Malaysian Qualifications Agency と Memorandum of Arrangement の調印について

標記の内容につきましては、ABEST21 e-News No. 77-Special Issue, 2015 に掲載されていますので、下記の URL でご覧ください。

http://www.abest21.org/jpn/enews/enews_no77moamqa.pdf

3) 関西国際大学主催の第2回 ACP 会議の出席について

5月28日、関西国際大学主催の第2回 ACP 会議が同大学の尼崎キャンパスで開催されました。ACP

(Asian Cooperative Program) 会議は日本と東南アジアの諸大学との間で国際合同授業の実施を目指したもので、当日はインドネシアから Universitas Lampung, マレーシアから Management & Science University, フィリピンから University of Philippines Diliman, タイから Thammasat University が出席し、濱田篤学長(写真左3人目)より国際合同授業の実現



に向けての計画が述べられました。ゲストスピーカーとして、伊藤理事長より“グローバル化に対応した教育研究環境づくり”の一環としての国際合同授業の実施の意義と教育研究の質保証についてスピーチされました。

4) Universitas Singaperbangsa Karawang (UNISKA)の訪問について

6月2日、ジャワ島のジャカルタ市とバンドン市の中間地点にあるカラワン工業団地に位置する Universitas Singaperbangsa Karawang のビジネススクールを訪問し、マネジメント教育研究の質保証のあり方について、学部長の Dr. H. Sonny Hersona 教授(写真左から3人目)の司会で教授陣・大学院生と意見交換をいたしました。UNISKA は、1982年に Yayasan Pembina Perguruan Tinggi Pangkal Perjuangan により設立された西ジャワ島のカラワン地区最古の国立大学で、1993年に Faculty of Economic の Department of Management が設立され、翌年、Accounting Program が開講されました。



5) AFEBI の第8回 Plenary Session に参加について

6月3日~5日、ABEST21 と互惠協定関係にある AFEBI (The Association of Faculty of Economics and Business of Indonesia)の第8回 Plenary Session が、カラワンの Citra Grand Hotel Karawang で開催されました。第1日目は、Hotel Aula Pemdade で UNISKA の学長 Prof. Dr. H. M. Wahyudin (写真左側)、学部長の Dr. H. Sonny Hersona、そして Minister Prof. Dr. Mohammad Nasir (写真右2人目)、Ministry of Research, Technology and Higher Education, Republic of Indonesia の挨拶が、それぞれありました。Minister Prof. Dr. Mohammad Nasir とは席が隣り合わせでしたので、インドネシアの大学の Faculty of Economics and Business におけるマネジメント教育研究の質保証の認証評価のあり方と日本の経営専門職大学院の教育制度について意見交換する機会を得ました。

ABEST21 は、第2日目の6月4日の Final Session の National & International Accreditation System で、“International Accreditation of ABEST21”をインドネシア大学の Dean Ari Kuncoro と伊藤理事長とで講演いたしました。



6) マレーシアの Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR)の訪問について

8月12日、ABEST21のExecutive SecretaryのProf. Dr. Ming Yu Chengの勤務先であるUTARを訪問し、Vice PresidentのProf. Dr. Ewe Hong TatにABEST21の活動について説明をいたしました。

3. Quality Assurance Activities

1) ABEST21 Accreditation Reviewers Seminarの開催について

8月10日、インドネシア・ジャカルタのUniversitas Indonesiaで2015年度のPeer Review teamsに対するセミナーが開催されました。インドネシアの各地から約20余名の委員が参加され、Indonesia CommitteeのCoordinator Dean Ari Kuncoro (FEB-UI)、ABEST21 Vice PresidentのDean Candra Fajri Ananda (FEB-UB)そして伊藤理事長より、ABEST21の認証評価の審査の在り方等についてそれぞれの立場から説明がなされました。



Prof. Dr. Dean Ari Concoro



Prof. Dr. Dean Candra Fajri Ananda

8月12日、マレーシアのクアラルンプールのManagement & Science Universityで、Peer Review Teamsのマレーシア委員を対象にしたセミナーを開催いたしました。セミナーでは、Peer Review

Committee の Chair である Prof. Dr. Arfah Salleh (Putra Business School、写真左)、Executive Secretary の Prof. Dr. Ming-Yu Cheng (UTAR、写真右)、そして伊藤理事長より ABEST21 の認証評価の審査の在り方等についてそれぞれの立場から説明がなされました。



2) PPM School of Management に対する SER 分析指導について

6月5日、2015年度SERの提出を予定しているインドネシア・ジャカルタのPPM School of Managementを訪問いたしました。SERの分析において若干の問題があるということで、Dean Alexander Liang (写真右から2人目)及びそのタスクチームに対して、SER分析の目的および評価基準の意図する内容等についてそれぞれ説明し、個別問題について分析の指導をしてきました。問題は過去の教育研究活動が評価基準を満たしていたかどうかの分析をするのではなく、今カイゼンすべき課題が何であるかの抽出を的確に行うことが重要であることを説いてきました。



4. Global Knowledge Network

株式会社東芝「東芝未来科学館 (Toshiba Science Museum)」の見学について

7月6日、川崎市の川崎駅前の川崎ラゾーナ地区にある株式会社東芝の東芝未来科学館を見学いたしました。当日は、館長の中山純史様、副館長の木下成雄様、人事・総務部参事木村教孝様、東芝総合人材開発株式会社社長金井淳様のご案内をいただき、東芝グループの歴史、東芝製品の一号機、環境・エネルギー、社会インフラ、半導体、デジタルプロダクツなどの近未来の社会・生活シーンを見据えた先端技術の説明を受け、別室にて質疑応答の機会を頂きました。



5. Membership Information

=====

1) 会員校代表者の紹介

Dr. Arumugam Seetharaman, Dean, Academic Affairs, SP Jain School of Global Management

SP Jain School of Global Management は、1981年に時の英国首相 Margaret Thatcher 氏により開設されたインドのビジネススクールを前身としていません。同校は、ドバイ、シンガポール、オーストラリアのシドニー、インドのムンバイにそれぞれキャンパスを有し、学生はすべてのキャンパスで学ぶ機会を得ることが出来る事を特徴としています。Dean Arumugam Seetharaman 教授の専門分野は会計学で、公認会計士の資格を有しています。Seetharaman 教授は、マレーシアの Universiti Sains Malaysia の教授を経て、Faculty of Management、Multimedia University の研究科長に就かれ、2009年に SP Jain School of Global Management の Dean に就任され、現在に至っています。SP Jain School of Global Management では、カリキュラムの開発、認証評価の取得、学位課程のランキング等に取り組まれており、現在では、SP Jain は経済紙フォーブスが発表している国際的なビジネススクールトップ 20 校に入っており、フィナンシャルタイムズでは、グローバル MBA プログラムトップ 100 に入っています。



2) 新会員校の紹介

(1) Faculty of Economics and Business, Universitas Sam Ratulangi, Indonesia

Universitas Sam Ratulangi は、1965年に設立されたインドネシアのスラウェシ島（セレベス島）のミナハサ半島最北端のメナド市に設置されている国立大学です。前身は1958年に設立された College of Manado で、現在、24,000名の学生が在籍されています。会員校となった Faculty of Economics and Business は2000年に設立され、学生数は約1,764名です。代表者は、Dean and Prof. Dr. David Paul Elia Saerang, Universitas Sam Ratulangi URL: <http://www.unsrat.ac.id/>

(2) Faculty of Economics, Universitas Andalas, Indonesia

Universitas Andalas は、インドネシアの西スマトラ州都パダンにある国立大学です。1956年に創立されたインドネシアで4番目に古く、ジャワ島以外にある大学の中では最古の大学です。メインキャンパスの広さは500haあり、約26,000名の学生が在籍されています。薬学部においては、マレーシア等の海外からの学生が多く在籍されています。会員校となった Faculty of Economics は、1958年に開設され、最初の講義にはインドネシアで最も著名な経済学者のひとりである Dr. Soemitro Djojokusmo が教鞭をとられました。学生数は約1,325名です。

代表者は、Dean and Prof. Tafdil Husni,

Faculty of Economics, Universitas Andalas URL : <http://www.unand.ac.id/>

(3) Graduate School of Business, Universiti Tun Abdul Razak, Malaysia

Universiti Tun Abdul Razak (UNIRAZAK) は、1997年に設立されたマレーシアで最も古い私立大学の一つです。大学名は「マレーシア発展の父」と国民に慕われている2代首相 Tun Abdul Razak bin Dato's Hussein に因んで名づけられました。国内私大の中ではやくから、ISO9001,2000をマレーシア標準工業研究所（SIRIM）から取得し、AACSB及びEFMDのメンバーでもあります。学生数は約1,069名です。会員校となった Graduate School of Business は1999年に設立され、約95名の

学生が在籍されています。代表者は、Dean and Associate Prof. Cordelia Mason
Universit Tun Abdul Razak URL : <http://www.unirazak.edu.my/>

3) 学校会員代表者の身分異動について

2015年4月以降において ABEST21 に正式に連絡のあった学校会員代表者の身分異動は下記の通りです。

インドネシア

- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Diponegoro, Semarang
Prof. Dr. Mohammad Nasir の Minister of Research, Technology and Higher Education, Republic of Indonesia の就任に伴い Dr. Suharnomo が Dean に就任。
- ・ PPM School of Management, Jakarta
Martinus Sulistyono Rusli, Ph.D. の Dean の任期満了により、Dr. Alexander Liang が Dean に就任。
- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Sebelas Maret, Surakarta
Dr. Wisnu Untoro の Dean の任期満了により、Dr. Hunik Sri Runing Sawitri が Dean に就任。

日本

- ・ 青山学院大学大学院国際マネジメント研究科
高橋文朗教授の研究科長の任期満了により、岩井千明教授が研究科長に就任。
- ・ 関西学院大学大学院経営戦略研究科
西尾宇一郎教授の研究科長の任期満了により、定藤繁樹教授が研究科長に就任。
- ・ SBI 大学院大学経営管理研究科
重田孝夫教授の研究科長の任期満了により、石川秀樹准教授が研究科長に就任。
- ・ 山口大学大学院技術経営研究科
上西研教授の学長特命補佐への就任により、福代和宏教授が研究科長に就任。

マレーシア

- ・ Graduate School of Business, Universiti Kebangsaan Malaysia
Prof. Dr. Izani Ibrahim の Dean の任期満了により、Dr. Zaher Zain が Dean に就任。
- ・ Faculty of Business & Accountancy, Universiti Malaya
Prof. Dr. Mohd Nazari Ismail の Dean の任期満了により、Dr. Che Ruhana Isa が Dean に就任。
- ・ Othman Yeop Abdullah Graduate School of Business, Universiti Utara Malaysia
Prof. Dr. Noor Azizi Ismail の Deputy Vice Chancellor (Research and Innovation) への就任により、Prof. Dr. Shahizan Bin Hassan が Acting Dean に就任。